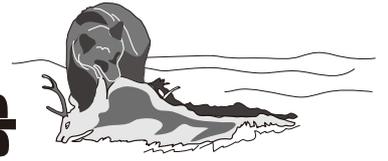


タンネウシ 1月号



第38回特別展 ヒグマ、その現在・過去・未来

ヒグマは知床の豊かな生態系を象徴する動物ですが、地域の暮らしや産業にとって困る面もあります。最新の研究成果から明らかになってきたヒグマの社会や生態、オホーツク～アイヌ文化期から現代までのヒグマと人の関わり、ヒグマ対策の最前線を展示で紹介します。大型オスの生態を紹介する映像、ヒグマに関する考古資料、クマ対策用ごみステーションやフードコンテナなどを展示します。

日時：2月1日(水)～3月31日(金)

場所：交流記念館ホール

※特別展のみの観覧は無料



ルシャ地区のヒグマ

冬の星座観学会

冬の大きな三角形やふたご座、ぎょしゃ座など冬の代表的な星座を紹介します。オリオン座の大星雲やプレヤデス星団(M45)などを望遠鏡で観察します。20日が悪天のときは21日、22日と順延します。

日時：1月20日(金) 18:30～19:30

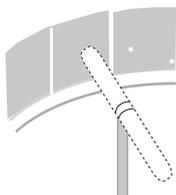
場所：

知床博物館天体ドーム

担当：合地学芸員

参加費：無料・要申込み

※暖かい服装でご参加下さい。



南極カフェ

どこまでも続く氷海、30億年以上前の地層、ペンギンたちの群れ。第56次南極地域観測隊員だった高橋学察さんから、南極の大自然の様子を聴きます。高橋さんはK2登山の経験もあり、そのときのお話もあります。

日時：1月25日 19:00～20:30

場所：交流記念館2F、応接室

講師：高橋学察(中標津町在住)

参加費：大人200円・要申込み

協力会会員は無料

定員：13名(最小開催人数5名)



南極ラングホブデ地域のアデリーペンギン

編集後記

●2016年を振り返ると、最大のニュースはやはり合地学芸員が出演した「ブラタモリ」でしょう。動物が取り上げられることの多い知床ですが、火山や地質が紹介され、地元の方からも勉強になったと好評でした。たくさんの感想の中には「地質屋の鑑！」なんていうのもありました●ウトロの



チャシコツ岬上遺跡(亀岩)から発見された奈良時代の古銭「神功開宝」も話題になりました。(古銭を含む出土品の展示は1月8日まで)●さて、2017年はどんなことが?! まずは、特別展ヒグマから始まります。お楽しみに。(ひら)

●新年は6日(金)より開館いたします。1月の休館日は9・16・23・30日の月曜日と10日(火)です。冬季(11～3月)の祝日は休館します